

子どもの安全安心まちづくりに関する基礎的調査研究

担当部科 居住科学部 都市生活科

【研究の目的と方法】

子どもが事故や犯罪などに巻き込まれることなく、安全で安心して生活できる環境について検討し、その環境を地域ぐるみの活動によって整えていくために、旭川市内の2つの小学校のご協力のもと、

- ・子どもの遊び場、事故や犯罪の危険がある場所などについてのアンケート調査
- ・現地調査
- ・ウォッチング
- ・ワークショップ

などの実践を通して、研究を進めました。

【研究の結果】

小学校での実践を通して、子どもの遊び場・遊び方・帰宅時間・移動方法など基本的な生活の様子や、交通事故などで危ない目にあった場所、知らない人から声をかけるなどでこわい思いをした場所、保護者があまり行って欲しくないと考えている場所などについて把握することができました。

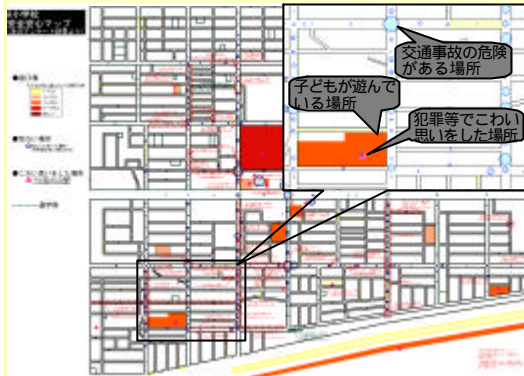
それらの結果をマップやチェックリストなどにまとめることによって、対象とした小学校区だけでなく、他の地域でも活用できるようにしています。

【活用方法・成果】

各小学校で活用できる成果として、

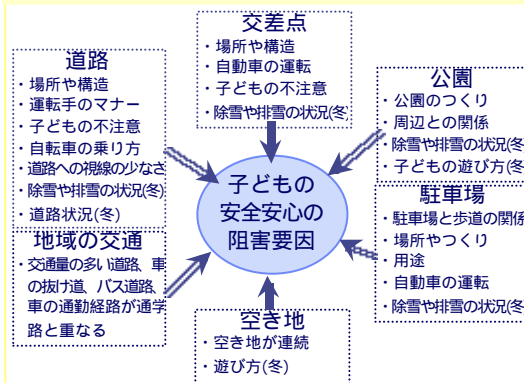
- ・各小学校区の安全安心に関わる状況を示す子ども環境マップ
 - ・子どもの安全安心まちづくりのための改善方策
- が得られ、他地域でも活用・展開が可能な成果としては、
- ・子ども環境マップの作り方
 - ・まちの安全安心を判断するチェックリスト
 - ・地域ぐるみでの子どもの安全安心まちづくりを進める手法
- が得られました。

子ども環境マップ



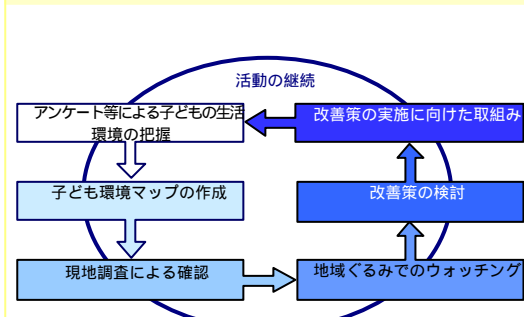
アンケート結果をマップに示すことにより、地域の中で子どもが遊んでいる場所、交通事故の危険がある場所、犯罪によりこわい思いをした場所が把握できます。

子どもの安全安心を阻害する要因とチェックリスト



子どもの安全安心を阻害する要因を検討し、チェックリスト(夏編・冬編)をつくりました。これにより、まちが子どもにとって安全かどうかチェックできます。

子どもの安全安心まちづくり手法



道内の様々な地域で、これから子どもの安全安心について考えていく場合に、どの様に取り組んでいけばよいかを示しました。



車道と歩道が分かれていない



信号・横断歩道がない



路上駐車が歩道をふさぐ



周囲からの視線が少ない



雪山を避け、車道を歩く



交差点の雪山で見通しが悪い



通学路と車の通経路が重なる



周囲の雪山で公園が見えない



みんなで改善策を検討する

シリーズ研究